

平成30年度事業評価 分野別評価シート

【福祉・健康】

- [1 高齢者福祉]
- [2 障害者福祉]
- [3 生活福祉]
- [4 健康づくり]
- [5 生活衛生環境]

このシートでは、基本構想の「福祉・健康」について、各分野の中間アウトカムの達成に向け、各計画事業の所管課による「課別評価」の結果を集約し、中間アウトカム全体を俯瞰した組織横断的な視点からの評価を行います。

1 高齢者福祉に関する分野別評価

基本構想実施計画 中項目	2-1 高齢者福祉
将来像	歳を重ねても、いきいきと自分らしく暮らせるまち

このシートでは、高齢者福祉分野の計画事業の所管課が行った課別評価を踏まえ、**中間アウトカムを達成するために必要なこと**について、分野別分科会における**組織横断的な視点**からの評価を示します。

中間アウトカム (A) 高齢者が、個々の状況に応じた、暮らしやすい環境で生活している

事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性
民間事業者による高齢者施設の整備	福祉政策課	介護を必要とする高齢者のニーズに合った施設整備が進んでいる	現状維持
旧区立特別養護老人ホームの大規模改修	福祉政策課	安心して施設を利用することができる	現状維持
文京すまいるプロジェクトの推進	福祉政策課	住宅の確保に配慮を要する高齢者等に対し、住まいが確保され、住まい方の支援が行なわれている	現状維持
特別養護老人ホーム文京大塚みどりの郷の大規模改修	福祉政策課	安心して施設を利用することができる	現状維持
地域密着型サービス施設整備費補助	介護保険課	介護を必要とする高齢者のニーズに合った施設整備が進んでいる	改善・見直し
元気高齢者が活躍！介護施設ワークサポート事業	高齢福祉課	介護人材不足を側面的に補完している	現状維持
介護人材確保・定着等支援事業	介護保険課	区内介護サービス事業所の人材が確保され、定着している	現状維持
バリアフリー基本構想の推進	都市計画課	ハードとソフトの両面から、区全体のバリアフリー化が進められている	現状維持
バリアフリーの道づくり	道路課	区道のバリアフリー化が進められている	現状維持



課別評価 のコメント	地域密着型サービス施設整備費補助	【改善・見直し】
	民間事業者による土地購入が困難なため、公有地以外での整備が進んでいません。事業者が参入しやすい誘導施策等をさらに検討する必要があります。	



分野別分科会における評価
<p>中間アウトカム (A) 「高齢者が、個々の状況に応じた、暮らしやすい環境で生活している」を達成するためには、個々の高齢者の状況や家族等の状況を正確に把握し、その状況に応じた支援を行っていく必要があります。</p> <p>そのため、「高齢者・介護保険事業計画」に基づいて必要な住宅や施設または設備等の整理、さらにこれらの業務に従事する人材の確保について検討していきます。</p> <p>また、地域密着型サービス施設において質の高いサービスを提供するために、事業参入を容易にするための施策についても検討する必要があります。</p>

[1 高齢者福祉]

中間アウトカム (B) 高齢者が、生きがいや居場所を持っていつまでも元気に暮らしている

事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性
ふれあいいきいきサロンへの助成	福祉政策課	高齢者・障害者・子育て世帯が、地域で交流を深めている	現状維持
地域の支え合い体制づくり推進事業	福祉政策課	高齢者の地域の居場所が増え、住民同士が活発に交流している	現状維持
ミドル・シニア社会参加推進事業	高齢福祉課	おおむね50歳以上の区民が、主体的に社会参加している	現状維持
シルバー人材センターの活動支援	高齢福祉課	元気高齢者が、地域貢献にもつながるいきがい就業を行っている	現状維持
生活支援体制整備事業	高齢福祉課	高齢者の介護予防及び地域での支え合いの体制が整っている	現状維持
元気高齢者が活躍！介護施設ワークサポート事業	高齢福祉課	元気高齢者が介護施設で活躍している	現状維持
一般介護予防事業の推進	健康推進課	高齢者の健康が保たれている	現状維持



分野別分科会における評価

中間アウトカム (B) 「高齢者が、生きがいや居場所を持っていつまでも元気に暮らしている」を達成するためには、知識や経験を生かした社会参加や活動の場、また地域の居場所の充実に向けた取り組みが必要です。
 そのために、高齢者あんしん相談センターや社会福祉協議会等と連携し地域での支え合い体制づくりを推進するとともに、閉じこもりを予防する外出のきっかけづくりや仲間づくりを推進し、元気なうちから社会参加を促し地域とのつながりや介護予防に取り組めるよう支援していく必要があります。

中間アウトカム (C) 高齢者が地域で見守られ、安全・安心な暮らしを送っている

事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性
みまもり訪問事業	福祉政策課	高齢者の安否を把握し、緊急時の体制が整っている	現状維持
小地域福祉活動の推進	福祉政策課	地域での悩みや課題を、住民同士で解決している	現状維持
高齢者緊急連絡カード設置	高齢福祉課	高齢者の緊急事態に適切に対処できている	現状維持
ハートフルネットワーク事業	高齢福祉課	高齢者を見守る協力機関が増え、効果的な連携体制が整っている	現状維持
認知症施策の総合的な推進	高齢福祉課	認知症への理解が深まり、認知症高齢者とその家族の安心した生活が支えられている	改善・見直し
権利擁護センター事業の充実	福祉政策課	成年後見制度などが普及している	現状維持



課別評価 のコメント	認知症施策の総合的な推進	【改善・見直し】
	認知症の本人とその家族が安心して住みなれた地域で生活していくためには、認知症になる前から地域とのつながりを持つことが重要であり、認知症の本人や家族を地域で支える仕組みづくりが求められます。そのために、認知症施策総合推進事業を積極的に周知することで、地域での事業全般の認知度を高め、支援を必要とする本人や家族への適時・適切な支援の提供に努めます。	



分野別分科会における評価

中間アウトカム (C) 「高齢者が地域で見守られ、安全・安心な暮らしを送っている」を達成するためには、地域において認知症を含む高齢者のことについて十分に理解されており、高齢者が抱える様々な課題について自助・互助・共助・公助の組み合わせにより支え合える地域を作っていくことが必要です。
 そのため、認知症総合推進事業等各施策について積極的に周知を図っていくとともに、社会福祉協議会の権利擁護センターとも密接に連携するなど、地域全体で高齢者を見守りながら安心して暮らせる地域づくりを進めていきます。

中間アウトカム (D)		高齢者が、切れ目のない医療・介護サービスを受けている	
事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性
介護人材確保・定着等支援事業	介護保険課	区内介護サービス事業所の人材が確保され、定着している	現状維持
地域包括支援センター(高齢者あんしん相談センター)の充実	高齢福祉課	個々の状況に合った適切なサービスにつながっている	改善・見直し
医療と介護の連携強化	高齢福祉課 (健康推進課)	地域の医療関係者と介護サービス事業者等が効果的に連携し、在宅療養を支援している	現状維持
地域包括ケア推進委員会の運営	高齢福祉課	地域の実情を的確に捉えた事業構築が図られている	現状維持
地域医療連携	健康推進課	地域の医療機関が効果的に連携し、在宅療養を支援している	現状維持
在宅療養者等歯科訪問健診事業	健康推進課	在宅歯科診療が推進され、かかりつけ歯科医が定着している	現状維持



課別評価 のコメント	地域包括支援センター(高齢者あんしん相談センター)の充実	【改善・見直し】
	高齢者人口や相談件数が増加し、相談内容が複雑化する中でも、個々の状況に合った適切なサービスにつながられるよう、センター間の総合調整や地域ケア会議の運営支援などセンターへの支援体制の強化を検討します。	



分野別分科会における評価
<p>中間アウトカム (D) 「高齢者が、切れ目のない医療・介護サービスを受けている」を達成するためには、個々の高齢者の状態を正確に把握し、必要なサービスを効果的に提供していくことが必要です。</p> <p>そのために、地域の医療関係者と介護サービス事業者等が効果的に連携し、在宅療養を支援するために、ICTの活用を検討していくことが必要です。</p> <p>また、個々の高齢者の状況を正確に把握するために、高齢者あんしん相談センターへの支援体制を強化する必要があります。</p>

2 障害者福祉に関する分野別評価

基本構想実施計画 中項目	2-2 障害者福祉
将来像	だれもお互いに人格と個性を尊重し、支え合うまち

このシートでは、障害者福祉分野の計画事業の所管課が行った課別評価を踏まえ、**中間アウトカムを達成するために必要なこと**について、分野別分科会における**組織横断的な視点**からの評価を示します。

中間アウトカム (A) 障害者が、自立した生活を送っている

事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性
日中活動系サービス施設の整備	福祉政策課	障害者の就労支援や創作活動の場が確保されている	現状維持
障害者地域自立支援協議会の運営	障害福祉課	障害者の実情を的確に捉えた事業構築が図られている	現状維持
障害者基幹相談支援センターの運営	障害福祉課	障害者等が個々の状況に応じた、適切な対応を受けている	現状維持
地域生活支援拠点等の整備	障害福祉課	障害者の包括的な居住支援体制が構築されている	拡充
難病患者等への支援	予防対策課 (保健サービスセンター)	難病患者やその家族の経済的負担が軽減するとともに、生活の質が向上している	現状維持
精神障害回復途上者デイケア事業	保健サービスセンター	精神障害者の社会復帰が図られている	現状維持
グループホームの整備	福祉政策課 (予防対策課)	住み慣れた地域で自立した生活を送るための施設整備が進んでいる	改善・見直し
福祉作業所の大規模改修	福祉政策課 (障害福祉課)	安心して施設を利用することができる	現状維持
精神障害者の地域移行・地域定着支援体制の強化	予防対策課	精神障害者が地域で安心かつ安定した生活を送っている	現状維持
障害者就労支援事業の充実	障害福祉課	地域での自立した職業生活・社会生活が定着している	現状維持

課別評価 のコメント	地域生活支援拠点等の整備	【拡充】
	区内全体の相談件数が増加しており、今後さらに増加することを見据えた相談支援体制を構築する必要があります。	
課別評価 のコメント	グループホームの整備	【改善・見直し】
	引き続き近隣地域の理解を得ながら、公有地を含め整備を進める必要があります。整備計画が円滑に進められるよう事業者への必要なアドバイス等を行っていきます。	

分野別分科会における評価

中間アウトカム (A) 「障害者が、自立した生活を送っている」を達成するためには、地域生活を支えていくグループホームの整備と地域資源を有機的につなぐ相談支援体制の充実が課題となっています。グループホームの整備を達成するためには、近隣地域の理解を得ながら建設地を確保する必要があります。引き続き公有地を含め、民間事業者を誘致し整備を進めてまいります。相談支援体制については、障害者基幹相談支援センターを中心に、相談支援事業所との連携を強化することで、地域生活支援拠点等の整備を検討していきます。

[2 障害者福祉]

中間アウトカム (B) 障害者が、地域の中で安心して暮らしている

事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性
権利擁護センター事業の充実	福祉政策課	成年後見制度などが普及している	現状維持
障害者基幹相談支援センターの運営	障害福祉課	障害者等が個々の状況に応じた、適切な対応を受けている	現状維持
障害者虐待の防止	障害福祉課	障害者に対する虐待が防止されている	現状維持
障害者差別解消の推進	障害福祉課	障害者に対する差別がない、共生社会が実現している	現状維持
バリアフリー基本構想の推進	都市計画課	ハードとソフトの両面から、区全体のバリアフリー化が進められている	現状維持
バリアフリーの道づくり	道路課	区道のバリアフリー化が進められている	現状維持



分野別分科会における評価

中間アウトカム (B) 「障害者が、地域の中で安心して暮らしている」を達成するためには、障害者基幹相談支援センターの運営は大きな役割を担っており、相談件数は伸び続けているため、アウトカムAの事業である「地域生活支援拠点等の整備」と連携して相談支援体制の充実を図っていきます。また、虐待防止、差別解消、権利擁護について、引き続き推進に努めていきます。

中間アウトカム (C) 障害者が地域で交流を深めている

事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性
ふれあいいきいきサロンへの助成	福祉政策課	高齢者・障害者・子育て世帯が、地域で交流を深めている	現状維持
障害者事業を通じた地域交流	障害福祉課	心身障害者・児が、さまざまな地域活動に参画している	現状維持
文京スポーツボランティア事業	スポーツ振興課	障害者のスポーツ実施率が向上している	改善・見直し



課別評価のコメント	文京スポーツボランティア事業	【改善・見直し】
	障害者のスポーツボランティアへの登録制度をより広く周知し、登録者を増やしていくとともに従事可能な事業を確保していきます。	



分野別分科会における評価

中間アウトカム (C) 「障害者が地域で交流を深めている」の達成のためには、障害者が地域でスポーツやアートなど、さまざまな活動に参加し、交流を深めていく必要があります。特に、パラリンピックも控える中、障害者がスポーツに関わる機会が増加するよう、関係所管課で連携して推進していきます。

3 生活福祉に関する分野別評価

基本構想実施計画 中項目	2-3 生活福祉
将来像	だれもが住み慣れたところで自立して暮らせる、セーフティネットのあるまち

このシートでは、生活福祉分野の計画事業の所管課が行った課別評価を踏まえ、**中間アウトカムを達成するために必要なこと**について、分野別分科会における**組織横断的な視点**からの評価を示します。

中間アウトカム (A) 生活困窮者等が自立に向けた社会生活を送っている

事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性
母子家庭等自立支援事業	生活福祉課	母子・父子家庭の保護者が、生活の安定につながる知識・技能を習得している	現状維持
子どもの貧困対策	子育て支援課(生活福祉課、保健サービスセンター、教育総務課、学務課)	経済的困窮にある子どもが、生まれ育った環境に左右されず、安心して生活している	現状維持
小地域福祉活動の推進	福祉政策課	生活困窮者が、地域で孤立することなく安心して暮らしている	現状維持
生活保護受給者就労意欲喚起支援事業	生活福祉課	生活保護受給者の就労意欲が支援事業により向上し、就労が定着している	現状維持
生活困窮者自立支援総合相談事業	生活福祉課	生活困窮者の生活環境が各種支援事業により向上している	現状維持
路上生活者対策事業	生活福祉課	路上生活者が社会生活に向けた取り組みを行うことで、生活環境が向上している	現状維持
母子生活支援施設保護事業	生活福祉課	施設での支援を受けて、自立に向けた生活を送っている	現状維持
女性・母子父子相談体制の充実	生活福祉課	母子・父子家庭が、自立した生活に向けた相談援助を受けている	現状維持



分野別分科会における評価

中間アウトカム (A) 「生活困窮者等が自立に向けた社会生活を送っている」の達成に向けて、各事業の実施により適切な支援ができていることから、今後も引き続き各事業を実施します。

ひとり親の自立支援相談については、個々のニーズを把握し、適切な相談支援が受けられるよう関係機関と連携し、対応していきます。子どもの貧困については、庁内連絡会を通じて情報の共有・連携を図り、総合的に対策を推進していきます。

生活困窮者の就労の状況、心身の状況、地域社会からの孤立等の状況を勘案し、関係各部署、地域における関係機関等と連携しながら、支援を継続していきます。生活保護受給者の就労支援については、即時の就労が困難な者に対する就労準備支援に重点を置くとともに、就労意欲のある高齢者への支援も続けていきます。

中間アウトカム(B) だれもがDVから守られ、安全な生活を送っている

事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性
母子生活支援施設保護事業	生活福祉課	DV等がある母子家庭が施設での支援を受けて安全に生活を送っている	現状維持
女性・母子父子相談体制の充実	生活福祉課	DV被害者等が、適宜適切な相談援助を受けている	現状維持
母子・女性緊急一時保護事業	生活福祉課	配偶者等からの暴力被害から避難し、保護を受けている	改善・見直し
男女平等参画の推進	総務課	配偶者等からの暴力が防止されている	改善・見直し

課別評価 のコメント	母子・女性緊急一時保護事業	【改善・見直し】
	DV避難で支援を行った利用者について、家族関係の調整や利用者自身の心身不調の影響から保護が長期に渡りました。また、平成29年度全体の利用件数が過去3年間平均より約2割増した状況でした。今後、複雑な背景を持つ利用者の保護を実施する場合は従前のアセスメントに加え、組織的検討に基づき支援を行っていくこととします。	
課別評価 のコメント	男女平等参画の推進	【改善・見直し】
	「だれもがDVから守られ、安全な生活を送っている」を達成するためには、DVに関する知識を幅広い年代に伝えるとともに、だれもが気軽に相談できる場を提供することが必要です。今後は、DVに関する知識を伝える事業の実施や啓発カード等を配付するとともに、だれもが相談したいときに相談できるよう、相談室の相談体制の見直しや配偶者暴力相談支援センターの機能の整備を検討していきます。	

分野別分科会における評価

中間アウトカム(B)「だれもがDVから守られ、安全な生活を送っている」の達成については、現在相談者に対して適切な支援ができていることから、今後も引き続き各事業を実施していきます。

母子生活支援施設保護事業については、母子が安全・安心に生活を送れるよう、母子の生活状況や加害者の追及具合を施設職員と情報共有しながら、連携して支援していきます。

女性・母子父子相談体制の充実については、DV等の被害を受けている方からの相談が内容面で多岐にわたり、相談回数が増加していることから、相談内容に即した関係機関と協力しながら、適切な支援を行っていきます。

母子・女性緊急一時保護事業については、従前のアセスメントに加え、組織的な検討を踏まえて一時保護を実施し、被害を受けている方が一時保護後も安心して生活を送れるよう、適切な支援を行なっていきます。

男女平等参画の推進において、DVに関する知識を伝える事業等の実施とともに、だれもが相談したい時に相談できるよう、相談室の相談体制の見直しや配偶者暴力相談支援センター機能の整備を検討していきます。

中間アウトカム (C)		区民の生活が、安定した社会保障基盤に支えられている	
事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性
ジェネリック医薬品の普及	国保年金課	被保険者の負担軽減と国民健康保険財政の健全化が図られている	拡充



課別評価 のコメント	ジェネリック医薬品の普及	【拡充】
	平成29年11月時点での使用率は53.53%と、国が示す「平成32年度末までに80%」とは依然として開きがあります。今後、希望シールの配布や区報・HP等による広報を引き続き行うとともに、医師会・薬剤師会等との連携を強化していきます。	



分野別分科会における評価	
<p>中間アウトカム (C)「区民の生活が、安定した社会保障基盤に支えられている」を達成するためには、国民健康保険被保険者の負担軽減と国民健康保険財政の健全化が図られなくてはなりません。</p> <p>そのためには、一般的に研究開発に要する費用が低く抑えられることから、先発医薬品に比べ薬価が安い、ジェネリック医薬品（後発医薬品）の普及が必要になります。国が示す基準の達成を目指し、ジェネリック医薬品に切り替えた場合の差額通知の送付回数を増やすことにより、一層の普及に努めるとともに、希望シールの配布や区報・HP等による広報、医師会・薬剤師会等との連携を強化していきます。</p>	

4 健康づくりに関する分野別評価

基本構想実施計画 中項目	2-4 健康づくり
将来像	だれもがいつまでも笑顔で健康に暮らせるまち

このシートでは、健康づくり分野の計画事業の所管課が行った課別評価を踏まえ、中間アウトカムを達成するために必要なことについて、分野別分科会における組織横断的な視点からの評価を示します。

中間アウトカム (A) 区民が、心身ともに健康的な生活習慣を確立している

事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性
食育普及	健康推進課	健全な食生活を送っている	現状維持
健康診査・保健指導	健康推進課 (国保年金課)	健康の維持・増進に対する意識の醸成、行動変容が促されている	改善・見直し
生活習慣改善の支援	保健サービスセンター	生活習慣が改善し、生活習慣病が予防されている	改善・見直し

課別評価 のコメント	健康診査・保健指導	【改善・見直し】
	特定保健指導は男女ともにすべての年代において目標値を下回っていますが、今後も委託事業者と勸奨方法や受診者の受療行動につながるような取組について検討し、実施率向上に努めます。	
課別評価 のコメント	生活習慣改善の支援	【改善・見直し】
	生活習慣病予防事業参加者の意識向上度は高く、主体的に健康的な生活習慣を取り入れるための動機づけとして効果があるものと考えます。今後は子育て中の保護者を対象としたプログラムや、対象・テーマに変化をつけたプログラムの実施により青壮年期に向けた働きかけを行っていきます。	

分野別分科会における評価

中間アウトカム (A) 「区民が、心身ともに健康的な生活習慣を確立している」の達成に向けて、生活習慣の改善をライフステージに応じて働きかけていくとともに、各年代で目標値が下回っている特定保健指導について実施率の向上を目指すことで、区民の健康づくりに必要な支援や意識啓発などを行います。

中間アウトカム (B)		区民の疾病が予防、早期発見、早期治療されている	
事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性
健康診査・保健指導	健康推進課 (国保年金課)	健康の維持・増進に対する意識の醸成、行動変容が促されている	改善・見直し
各種がん検診	健康推進課	がんが早期に発見され、治癒効果が高まっている	拡充
歯周疾患検診	健康推進課	口腔衛生が保持・増進されている	現状維持
結核・感染症予防対策事業	予防対策課	感染症が予防や、まん延防止がされている	現状維持
予防接種の推進	予防対策課	ワクチンで防げる感染症の予防や、まん延防止がされている	現状維持
公害保健福祉・予防事業	予防対策課	公害健康被害被認定者等の病状が改善・予防されている	現状維持

課別評価 のコメント	健康診査・保健指導	【改善・見直し】
	特定保健指導は男女ともにすべての年代において目標値を下回っていますが、今後も委託事業者と勧奨方法や受診者の受療行動につながるような取組について検討し、早期発見・早期治療を目指します。	
課別評価 のコメント	各種がん検診	【拡充】
	国の指針である5がん検診を実施する環境を整える必要があります。また、定期的な受診を促し受診率の向上を図るために、システムを稼働して各種がん検診の受診履歴等を管理していきます。また、要精検者の把握や受診対象者への効果的な勧奨も可能になり、早期発見・早期治療につなげられます。	

分野別分科会における評価

中間アウトカム (B) 「区民の疾病が予防、早期発見、早期治療されている」の達成に向けては、健康診査・がん検診・歯周疾患検診の受診を広く区民に周知し、受診率の向上を目指す必要があります。特に、胃がん検診を除くがん検診は、受診率が低下していることから、平成31年度のがん検診システム稼働に合わせて、受診履歴等を考慮に入れたより効果的な受診勧奨を行っていきます。また、歯周疾患検診については、対象年齢を拡大したことで、受診者の増加が見込めますが、更に周知を努めます。

中間アウトカム (C) 区民が、住み慣れた地域で適切な医療を受けている

事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性
地域医療連携	健康推進課	地域の医療機関が効果的に連携し、在宅療養を支援している	現状維持
在宅療養者等歯科訪問健診事業	健康推進課	在宅歯科診療が推進され、かかりつけ歯科医が定着している	現状維持
医療安全対策の推進	生活衛生課	医療機関の医療安全体制が整備されている	現状維持

分野別分科会における評価

中間アウトカム (C) 「区民が、住み慣れた地域で適切な医療を受けている」の達成に向けて、地域医療連携推進協議会及び検討部会での、課題の整理、解決策・対応策の協議・検討を進めていきます。また、「在宅医療・介護連携推進事業」に取り組むとともに、「かかりつけ医・歯科医・薬剤師」を持つ区民を増やすため周知・啓発に努めていきます。

5 生活衛生環境に関する分野別評価

基本構想実施計画 中項目	2-5 生活衛生環境
将来像	だれもが快適で健康に暮らせる、安全で清潔なまち

このシートでは、生活衛生環境分野の計画事業の所管課が行った課別評価を踏まえ、**中間アウトカムを達成するために必要なこと**について、分野別分科会における**組織横断的な視点**からの評価を示します。

中間アウトカム (A) 健康を脅かす事態に際し、最善の対応ができる体制が整っている

事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性
新型インフルエンザ等感染症対策の連携体制の構築	予防対策課	新型インフルエンザ等に備えた連携体制が整っている	現状維持
災害時医療の確保	生活衛生課	大規模災害の発生に備え、災害医療救護体制が整備されている	現状維持



分野別分科会における評価

中間アウトカム (A) 「健康を脅かす事態に際し、最善の対応ができる体制が整っている」を達成するためには、感染症や災害の発生に備えての準備が重要となります。今後も東京都との情報共有を密にする他、地区医師会・歯科医師会・薬剤師会等の関係機関と協議するとともに対応訓練を行って連携を強化することにより、発生時の迅速かつ的確な対応に努めていきます。

中間アウトカム (B) 事業者が適正な衛生管理等を行っている

事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性
環境衛生監視の充実	生活衛生課	環境衛生関係営業施設が適正な衛生管理を行っている	現状維持
特定建築物衛生検査の充実	生活衛生課	法に規定する特定建築物の管理者が、適正な衛生管理を行っている	現状維持
医薬品等の安全対策の推進	生活衛生課	医薬品等を取り扱う施設が、適正な管理等を行っている	現状維持
食品の安全対策の推進	生活衛生課	食品衛生関係施設が、適正な衛生管理等を実施している	現状維持



分野別分科会における評価

中間アウトカム (B) 「事業者が適正な衛生管理等を行っている」を達成するためには、適切な監視・指導と啓発が重要です。計画的に監視を行い、かつ、効果的な指導を行う他、講演会等を開催して情報提供を行うことで、事業者が適正な衛生管理を行うよう努めていきます。

中間アウトカム (C)		区民の衛生的な生活環境が保たれている	
事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性
公衆浴場承継総合バックアップ事業	生活衛生課	公衆浴場の経営が継続されている	改善・見直し
動物との共生社会支援事業	生活衛生課	動物の適正な飼育が普及している	現状維持



課別評価 のコメント	公衆浴場承継総合バックアップ事業	【改善・見直し】
	各公衆浴場の承継に係る課題を把握し、経営を継続させるための必要な支援を検討します。	



分野別分科会における評価
<p>中間アウトカム (C) 「区民の衛生的な生活環境が保たれている」を達成するためには、状況に応じた事業を実施することが重要です。公衆浴場承継総合バックアップ事業では、区内銭湯の現状を把握し、効果的な事業を検討・実施していきます。また、動物との共生社会支援事業では、動物愛護のイベントの開催やパンフレットの作成等により適正な飼育の普及・啓発に努めます。</p>